

目指すべき学校像	国際社会に生きる人材育成を最高の目標とし、人格の完成、豊かな情操を育み、探求心旺盛な自主的・自律的な精神に満ちた心身共に健全な人間育成に期する。
重点目標	A 民族教育 建学の精神を伝え、教育目標が高い次元で実現するように協力体制をつくる。 B 学習 わかりやすい授業により、基礎を固め更なる学力向上を目指す。 C 生活習慣 規範意識・基本的な生活習慣を固め、心身共に健やかな成長を目指す。 D 環境整備 学習環境を整え、清潔で整備された安全な安心できる学校を目指す。 E 人権教育 人権の重要性を認識し、自他共に尊重する教育を目指す。

達成度	A	ほぼ達成 (80%以上)
	B	概ね達成 (60%以上)
	C	変化が見られる (40%以上)
	D	不十分 (40%未満)

達成度は生徒アンケートで、「よく当てはまる」「やや当てはまる」の数値 (%) の合計で表す。

年度目標		学校評価				年度評価	
重点目標	設問番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
A	1. 2. 3. 20	創立70周年を迎える年度に当たり、改めて本校の創立及び運営の継続がいかに意義のあることであるかを理解することにより、本校で学ぶことへの誇りを持たせることができるよう努力を重ねる必要がある。	生徒自身が学校創立の背景を理解し、誇りを感じることができる取り組みの実施。	・文化祭の取り組みに、「在日」の歴史や本校設立の意義にかかわる内容をとりいれ、調べ学習を通し、舞台発表や展示活動などを行う。 ・創立70周年に伴う記念行事においては卒業生による講演や、校長・理事長による講話を通し実施創立当時の状況や苦難を乗り越えた経緯を生徒たちが理解する内容を検討。また、記念誌の作成においても生徒たちが記事の作成に関与する機会を作る。	・「学校に誇りを感じる」生徒が80%を超える。 ・「学校創立の精神と歴史を理解している」生徒が80%を超える。 ・「教育理念・目標を理解している」生徒が80%を超える。	・「学校に誇りを感じる」生徒は79%。 ・「学校創立野精神と歴史を理解している」生徒は68%。 ・「教育理念・目標を理解している」生徒が72%。 ・設問1～3の平均で73%となったが、設問20では、肯定的な回答が58%に留まった。	B
B	4. 5. 6. 19	「授業への集中」を高める為の方策として「スコラ」の活用を徹底している。「スコラ」を通じて、助言、激励を行ない「やれば、できる」という達成感を生徒に感じさせるよう勤めている。授業の始業時間を守る習慣が欠けている生徒が一部みられ、休み時間からの切り替えがうまく行なえず集中力の欠如につながる傾向がある。	・より積極的な姿勢で授業、学習活動に取り組む。 ・学力のより一層の定着を図る。 ・生徒にとって理解しやすい授業の実施。	・学習活動記録手帳「スコラ」の活用方法を生徒に再確認させ、自身の学校生活の指標になるように位置づける。 ・「スコラ」はその日の生徒の学習内容を始めとした一日の行動内容、心の動きが綴られているので、担任は日々「スコラ」から生徒の行動や心の動きを読み取り適切な助言を行なう。 ・授業の始業、終業時間を守る意識を教職員が率先して示す。 ・実力試験の結果を次の学習目標でつなげるよう指導する。	・「授業に集中している」「授業が分かりやすい」「授業のわからないところなどについて質問しやすい。」「学習に熱心取り組んでいる」生徒が80%を超える。	・「授業に集中している」生徒が79%となり、昨年より減少した。 ・「授業がわかりやすい」「授業のわからないところなどについて生徒はともに60%代となり大きく減少した。 ・「授業に熱心に取り組んでいる」生徒は71%となり、昨年より減少した。	B
C	7. 8. 9. 10. 11. 15. 16	・平均的に欠席や遅刻をする割合は少なく、基本的な生活習慣は身につけていると思われる。発達段階から中学生に対する指導は細かい部分まで規則を適応して行なっているが、規則を大きく逸脱した生徒の割合も少ない状態である。 ・登校時のみでなく日常の学校生活の中でも、生徒と教員が互いに挨拶を交わしあえる雰囲気も出てきている。 ・生徒会を中心とした委員会活動や行事活動においても定められた規則・規定を守りながら活発に活動できている。 ・安全で安心な学校の実現には教職員がより一層努力し教科指導力の向上のみならず生徒指導の面においても指導力の向上が必須であることに気づかされている。	学校生活を充実させるために。 安全・安心で規律正しい学校生活づくりの推進	・登校指導の継続 ・毎週の朝礼時での生活目標の確認と励行の呼びかけ。 ・生徒が主体の学校行事の実施に向けた取り組み方法の検討。 ・文芸祭2日制の導入。 ・姉妹校との交流活性化(交換留学の実施) ・外部講師による防犯教室、薬物乱用防止教室の実施。 ・交通規則改正の説明、特に自転車のルール改正の説明と指導の徹底 ・SNSの正しい利用方法の講習の実施 ・教職員の意識、指導力向上の為の研修との実施。	・基本的な生活習慣や、学校行事等の設問に対する肯定的な回答の割合80%を目指す。 ・「安心・安全ながっこうである」の肯定的な回答の割合80%を目指す。	・基本的な生活習慣の設問では76%、行事に対する設問では81%が肯定的な回答であった。 ・文芸祭2日制は生徒および保護者の好評を得た。 ・82%が肯定的な回答をしたが、教員の生徒に対する指導に関連する項目では、80%に達していない。	A～B
D	17. 18	校舎の再建築とリニューアルが完成し、普通教室への電子黒板の設置も完了した。そのような中で生徒たちの美化意識の高まりも見られる。	教育施設の充実と環境及び美化意識の向上により、充実した学校づくりを目指す	・施設の充実と有効活用 ・校内美化状況の確認と点検方法の見直し ・清掃活動奨励の強化 ・清掃用具の点検と充実	・日常生活の中から常に教室内が整理整頓された状態であるように心がける意識を持たせる。 ・美化意識が強い生徒が80%を超える。	・美化、清掃に取り組んでいると答えた生徒の割合が88%、施設や備品を大事に扱っていると答えた生徒の割合が94%であった。	A
E	12. 13. 14	今年度も外部団体と協力して「高齢者施設訪問」「身体障害者理解学習」「車椅子体験」等を行った。生徒たちはいずれの取り組みにも積極的であり、各団体からも評価を受けた。また、道徳の時間を利用して「差別」「平等」「国籍」「違い」などをテーマにした授業を行っている。人権意識に関する個人レベルでの深度の差は解消されていない状況も有る。しかし、個人レベルの人権意識が本当に浸透しているかを調べるのは困難であり、不明確な点も多いのも事実である。生徒の悩みや不安をどのような形の解決策につながるかを、見守る必要がある。	自分の大切さを認め、他の人の大切さにも気づける心の持ち方を身につける。	・外部福祉団体との協力体制の維持と強化。 ・生徒の悩みや相談に迅速に回答できるように、カウンセラーとの協力体制の構築。 ・生徒が抱える問題を抱え込まずに相談してもらえよう教員に対する信頼を高める取り組みの実施。 ・教員が、生徒一人ひとりへの見守りと気づきの配慮を常に心がける。	・教員による指導のあり方や生徒の性格等の把握に対して肯定的な回答が80%を超える。 ・悩みの相談をしやすいと答える生徒の割合が80%を超える。	・教員は生徒の人権を尊重した態度で生徒に接していると答えた生徒は71%であり、教員は生徒一人ひとりの性格や長所・短所をよく把握していると答えた生徒は69%であった。 ・悩みを相談する環境が有ると答えた生徒は65%に留まった。 ・他の生徒との関わりで苦しむ生徒のフォローが十分に出来なかった事例もあった。	B

学校関係者評価		
実施日	2017年	2月 9日

学校関係者の意見・評価等
・建国中学校は韓国の民族学校で、子供達は他の中学校では経験出来ない立場の違う校友と言語、文化の多様な環境を理解と配慮をしながら共に学んでいます。 ・校庭は、いつも元氣いっぱいの幼稚園児から先輩の高校生まで一緒に過ごしているので挨拶や譲ることなど礼儀が備わっているようです。 ・昨年の行事の中、特に良かったのは文芸祭を今までの1日日程を2日間に変更したことです。そのため学校の近所の方々や家族、文芸祭を準備した生徒達もゆっくり皆さんと楽しい交流が出来まして本当に満足しました。これからもこのシステムで検討をお願いします。 ・保護者の研修会などいろんな機会があり、給食を何回も試食しましたところ本当に建国中学校の給食は満足です。綺麗な厨房環境とバランス良い食材とメニュー、お米中心の給食はいつも感謝して安心します。 ・昨年も数多い検定試験がありました。いつも学校からの韓国語検定や英語検定の充実な学習と指導のお陰様で、良い結果を足している子供達も多数いました。 ・アンケート中の「生徒は授業がわかりやすい」と言っている項目の場合、あてはまらないの意見の方が多くありました。生徒の学習能力の差などいろんな問題があると思いますが、建国中学の子供達は韓国語と日本語の中、環境によって一つの言語を中心に使う場合や一つの言語を母国語として使う場合、二つの言語をよく理解出来る場合、理解しても理解度のバランスがさまざまです。学校からもレベルに合わせた授業を行っています。授業参観の時、感じたのは日本の科目の授業中、先生の教えの中、日本語と韓国語を混ぜて説明する場合があります。二つの言葉を充分に分かっていない生徒は集中力が落ちると思います。その場合は素早い通訳や意味を生徒に教えてくだされば授業の進みも良いと思います。 ・次は、クラブ活動の意見です。建国中学の自慢でもあるクラブはいろいろあります。子供達もプライドを持って努力し、大会では素晴らしい結果を足したり地域でもいろんな活動と交流などいつも感動しています。ただ、一つ希望としては、他のクラブのほうも均等に計画ある指導や練習のマニュアル作りや、しっかりと管理の下での活動をお願いしたいということです。 ・アンケート中の「記念講話などで話される内容を理解できる」ところでややあてはまらないという意見が多くありました。学校行事や記念日などに参加して心残りだったのは、校長先生や生徒達の為に訪問して下さった外部の方々の記念講話の時、子供達のために大切に意味のある内容なのに、少ないですが、聞いている生徒も保護者も理解できない場合があると思いました。同時通訳か事前に講話の内容を日本語と韓国語で書面を準備するのを希望します。 ・建国の子供達は自分自身と他人の感情を修めながら、理解して配慮する柔軟な能力を持っていると思います。これからも子供達の成長を期待します。先生方よろしくお祈りします。